

TTT-Japanセミナー内でよく使われる、誤解がないように確認しておきたいことば、略称	ガイドライン原文の英語	正確な訳(JSIPC用語集記載用語)	解説
本来の正確な用語が一般医療現場で日常的に使用されていることばと乖離があるため、本セミナー内では大幅に省略して、特定の意味を持たせて使用していることば			
手指消毒	alcohol based hand rub (ABHR) hand rub, hand rubbing (HR)	擦式アルコール手指消毒 擦式手指消毒 手を擦る動作	本ガイドラインの中で扱われる「手指消毒」は原則としてすべて「擦式アルコール」手指消毒を指している
手洗い	hand wash, hand washing (HW)	(流水と石けんでの)手洗い	本ガイドラインで「手洗い」は原則として医療現場における流水と石けんでの(衛生的)手洗いを指す
手指消毒剤 アルコール手指消毒剤	alcohol based hand rub (ABHR)	アルコール含有擦式消毒剤 擦式アルコール含有手指消毒薬 速乾性手指消毒薬	本ガイドラインの中で扱われる「手指消毒剤」は原則としてすべて「アルコール含有擦式手指消毒剤」を指している
本戦略のコアとなる特有の表現で、本セミナー内での「見やすさ、理解しやすさ、日本人の感覚に馴染む」といった観点から、独自に用いていることば			
手指衛生多角的戦略 「多角的戦略」と略してよぶ場合もある	multimodal hand hygiene improvement strategy	手指衛生多角的改善戦略 手指衛生複合的改善戦略	「手指衛生戦略」だけで手指衛生を改善させるという意図が理解できるため「改善」は割愛する
5つの瞬間	my five moments of hand hygiene	私の手指衛生の5つの瞬間 手指衛生の5つのタイミング	ディスカッションの際の議論の混乱を避けるため「タイミング」「モーメント」という言葉はつかわない
手指衛生の瞬間 5つの瞬間(の中のどの瞬間か)	indication (for hand hygiene)	(手指衛生の)適応	どの文脈でも「どの手指衛生の瞬間なのか」という意味に集約されるため、日頃なじみのない「適応」という言葉は使わない
手指衛生の瞬間が発生する機会 手指衛生が必要な機会	hand hygiene opportunity	手指衛生機会	「機会」のことばかりに「瞬間」や「タイミング」ということばは使わない
医療エリア	health care area	医療ケアエリア	「ケア」はなくても意味が理解できるため割愛する
患者ゾーン	patient zone	患者ゾーン	同じ
ポイントオブケア「ケアの場面」	point of care	ポイントオブケア	ケアの現場で手が届く範囲に手指消毒剤がある、といった文脈で多く使われる
感染の危険がある部位 2の瞬間が発生する操作で触れるところ	critical site	危険な、致命的になる部位	2の瞬間が発生する操作、といった文脈で多く使われる
患者に触れる前	before touching a patient	患者に触れる前	同じ
清潔/無菌操作の前	before clean/aseptic procedure	清潔/無菌操作の前	
体液曝露リスクの後	after body fluid exposure risk	体液曝露リスクの後	
患者に触れた後	after touching a patient	患者に触れた後	
患者周囲環境に触れた後	after touching patient surroundings	患者周囲環境に触れた後	
5つの要素	the five components	5つの要素	同じ
物品設備	System change	システム変更	内容としてはインフラや物品を使いやすく整備することであるため、これが理解しやすい表現とする
研修教育	Training and Education	研修と教育	ほぼ同じ
測定評価	Evaluation and feedback	評価とフィードバック	日本語の「評価する」には広義ではフィードバックの意味も含まれ、また要素の中身としては「monitoring」が含まれるため、このような表現とする
現場掲示	Reminders in Workplace	職場のリマインダー	馴染みやすい4字熟語とする
組織文化	Institutional Safety Climate	施設の安全風土	病院組織の問題や「文化をつくる」といった内容であるため、これがより理解しやすい表現とする
5つのステップ	the step-wise approach	段階的アプローチ	「5つの瞬間」「5つの要素」と統一した表現とする
準備決意	facility preparedness	施設としての準備	日本人が感覚に馴染む「4字熟語」に近い意味をもつ表現とする
事前評価	baseline evaluation	ベースライン評価	
実施結果	implementation	実践	
事後評価	follow-up evaluation	フォローアップ評価	
計画立案	ongoing planning and review cycle	計画立案と振り返りを繰り返していく	
手指衛生自己評価フレームワーク 「Hサーフ」と略して呼ぶ場合もある	Hand Hygiene Self Assessment Framework HHSAF	手指衛生自己評価フレームワーク	同じ
不十分	inadequate	不十分	一般的な4(3)段階のレベル分けとして、日本人の感覚に馴染む表現で表記する
初級	basic	必要最低限、基本	
中級	intermediate or consolidation	中間、安定した	
上級	advanced or embedding	先進的、根付いた	
手指消毒手順	how to handrub	擦式手指消毒の方法	一般的な国内の「手順ポスター」に合わせた表記とする
手洗い手順	how to handwash	手洗いの方法	一般的な国内の「手順ポスター」に合わせた表記とする
6 steps	6 steps	6つのステップ	手順の中で表される6つの手の形と手の動かし方を指す。本セミナー内では「5つのステップ:step wise approach」と区別するために、英語のまま使用する
TTT	Train the Trainers in Hand Hygiene	手指衛生指導者育成(セミナー)	WHO手指衛生多角的戦略に基づくもの